国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	阿部塊地/高橋淑江
科　目　名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	119時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	公式TOEIC　Listening ＆Reaqding プラクティス　リスニング編、リーディング編		
補助教材	公式TOEIC　Listening ＆Reading 6・7		

科目概要と科目到達目標

TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。

授業の進め方・学習方法・課題

リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため
毎日単語チェックを行う。
また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ
問題を解くように促す。
対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②TOEIC公開テストスコア20%　③課題提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	リスニング編　Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
2	リスニング編　Part2 応答問題	リスニング力の向上
3	リスニング編　Part3 会話問題	リスニング力の向上
4	リスニング編　Part4 説明文問題	リスニング力の向上
5	リーディング編　Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
6	リーディング編　Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
7	リーディング編　Part6　長文穴埋め問題	リーディング力の向上
8	リーディング編　Part6　長文穴埋め問題	リーディング力の向上
9	リーディング編　Part7　読解問題	リーディング力の向上
10	リーディング編　Part7　読解問題	リーディング力の向上
11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
13	評価	まとめテスト
14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	坂上啓貴 /小林恵子
科　目　名	English Strategy 英検2級取得	時間数	119時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	2023年度版　英検2級過去問題集　出る順で最短合格単熟語EX		
補助教材	英検2級総合対策		

科目概要と科目到達目標

読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる

リスニング対策

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①英検合格50%　②　定期テスト20%　③　課題提出率20%　⑤　授業態度10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
3	英検2級過去問題集2015年第1回　解答解説	10月受験対策
4	英検2級総合対策P14～24　2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
5	2級過去問題集2019年第2回　解答解説　リスニング30問	10月受験対策
6	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング暗唱テスト	10月受験対策
7	英検2級対策P25～35　2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
8	短文暗唱テスト8文　単熟語テスト100問	10月受験対策
9	英検2級対策P36～46　2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
11	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　暗唱テスト	10月受験対策
12	英検2級総合対策P47～57　2級過去問題集	10月受験対策
13	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
14	英検2級総合対策P58～68　2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
15	英検2級総合対策P69～79　2級過去問題集	10月受験対策
16	短文暗唱テスト　出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
17	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
19	英検2級総合対策P91～101 解答解説　リスニング30問	10月受験対策
20	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	10月受験対策
21	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
22	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニングテスト	1月受験対策
23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
25	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	1月受験対策
26	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
28	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
30	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
32	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
33	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
34	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2学年	担当教員	坂上啓貴 /小林恵子/ 寺田喜之/皆川由子
科　目　名	English Strategy 英検準2級取得	時間数	119時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	2023年度版　英検準2級過去問題集　英検準2級英単語1550		
補助教材	英検準2級総合対策		

科目概要と科目到達目標

読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる

リスニング対策を定期的に行う

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①英検合格50%　②　定期テスト20%　③　課題提出率20%　⑤　授業態度10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
2	英検準2級英単語1550　P14～24 リスニング30問	10月受験対策
3	英検準2級過去問題集2019年第1回　解答解説	10月受験対策
4	英検準2級総合対策P14～24　2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
5	準2級過去問題集2019年第2回　解答解説　リスニング30問	10月受験対策
6	長文和訳テスト　リスニング暗唱テスト	10月受験対策
7	英検準2級対策P25～35　準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
8	短文暗唱テスト8文　単熟語テスト100問	10月受験対策
9	英検準2級対策P36～46　準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
11	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　暗唱テスト	10月受験対策
12	英検準2級対策P47～57　準2級過去問題集	10月受験対策
13	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
14	英検準2級総合対策P58～68　2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
15	英検準2級総合対策P69～79　準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
16	短文暗唱テスト　英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
17	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
18	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説　リスニング30問	10月受験対策
20	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	10月受験対策
21	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550　P58～68	10月受験対策
22	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニングテスト	1月受験対策
23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テス	1月受験対策
25	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	1月受験対策
26	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
28	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
29	英検準2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
30	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
31	英検準2級対策P146～156解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
32	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
33	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
34	単熟語テスト100問　長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	ニール　マクレーン
科　目　名	SpeakingⅡ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	Talk a Lot 1		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

英語であいさつや自己紹介、身の回りのことや出来事を伝えることができる。
また、聞き取ることができる。

授業の進め方・学習方法・課題

「話す」「書く」「読む」「聞く」の4技能を取り入れて授業を行うが、
特に「話す」と「聞く」のペア、グループワークを集中的に行う。
講師とは一方的にならないようコミュニケーションを図りながら進めていく
対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	Meeting people	自己紹介をする
2	Meeting people	自己紹介をする
3	Talking about Interests	趣味について
4	Talking about Interests	趣味について
5	Talking about Family	家族について
6	Talking about Family	家族について
7	Talking about People	民族について
8	Talking about People	民族について
9	Talking about Work	仕事に就いて
10	Talking about Work	仕事に就いて
11	Talking about Past Experiences	過去の経験について
12	Talking about Past Experiences	過去の経験について
13	前期のまとめ①	
14	前期のまとめ②	
15	試験	
16	前期振り返り	
17	Talking about Sports	ｽﾎﾟｰﾂについて
18	Talking about Sports	ｽﾎﾟｰﾂについて
19	Talking about other Cuntries	国について
20	Talking about other Cuntries	国について
21	Talking about Experiences	経験について
22	Talking about Experiences	経験について
23	Talking about Places	観光地について
24	Talking about Places	観光地について
25	Travei English Part	観光英語について
26	Travei English Part	観光英語について
27	Talking about Japanese Things	日本文化について
28	Talking about Japanese Things	日本文化について
29	後期のまとめ①	
30	後期のまとめ②	
31	試験	
32	試験振り返り	
33	English Speech①	自分のことについてのｽﾋﾟｰﾁ発表
34	English Speech②	自分のことについてのｽﾋﾟｰﾁ発表

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	北村　裕美
科　目　名	旅行業約款	時間数	34単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研　旅行業約款/運送・宿泊約款		
補助教材	パワーポイントスライド		

科目概要と科目到達目標

旅行に関する契約を締結する際の数々の約束事についてを理解し
旅行業務取扱管理者試験取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

テキストとまとめプリントを使用し、旅行業約款の知識を深め、国家試験合格を目指す。
ひとつの項目の終了ごとにテストを行い、理解度を確認する。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グランドスタッフとしての全ての業務にに係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年

週数	学習内容	学習のねらい
1	募集型企画旅行契約　総則（用語の定義）	国家試験概要の理解
2	募集型企画旅行契約　契約の締結・変更	募集型企画旅行の理解
3	募集型企画旅行契約　契約の解除・団体グループ契約	募集型企画旅行の理解
4	募集型企画旅行契約　旅程管理・責任	募集型企画旅行の理解
5	募集型企画旅行契約　営業保証金・弁済業務保証金	募集型企画旅行の理解
6	受注型企画旅行契約　用語の定義・契約の締結	受注型企画旅行の理解
7	受注型企画旅行契約　契約の変更・解除	受注型企画旅行の理解
8	受注型企画旅行契約　団体グループ契約・旅程管理	受注型企画旅行の理解
9	受注型企画旅行契約　責任・営業・弁済保証金	受注型企画旅行の理解
10	特別補償規定　補償金の支払い・種類・手続き	特別補償規定の理解
11	手配旅行契約　用語の定義・契約の成立	手配旅行契約の理解
12	手配旅行契約　契約の変更及び解除・旅行代金	手配旅行契約の理解
13	手配旅行契約　団体、グループ手配・責任・補償金	手配旅行契約の理解
14	旅行相談契約・渡航手続代行	その他旅行契約の理解
15	国内旅客運送約款・バス・フェリー・宿泊約款	その他旅行契約の理解
16	科目総合試験	実力テスト
17	科目総合試験	実力テスト（振り返り）
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	澤野　仙吉
科　目　名	出入国法令	時間数	17単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研　出入国法令		
補助教材	ユーキャン演習問題集（紙媒体）		

科目概要と科目到達目標

旅券の各種手続き、出国帰国時の手続き、外国人の再入国等出入国に関する法令実務についての学習
総合旅行業務取扱管理者試験の資格取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

テキストと問題集を活用し、授業用穴埋めプリントを作成、使用し進める。
定期的にテストと補講を実施。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、航空券予約・発券、出入国書類作成、旅行傷害保険作成他、旅行に係わる実務経験

週数	学習内容	学習のねらい
1	旅券法令(1)　申請概要	旅券の理解
2	旅券法令(2)　申請条件	旅券の理解
3	旅券法令(3)　失効条件	旅券の理解
4	旅券法令(4)　受領条件	旅券の理解
5	旅券法令(5)　代理申請・受領	旅券の理解
6	まとめ・単元確認試験	まとめ、確認テスト
7	感染症・予防接種・査証	出国時の準備
8	感染症・予防接種・査証	出国時の準備
9	感染症・予防接種・査証	出国時の準備
10	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
11	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
12	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
13	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
14	外国籍の出入国手続きの流れ　概要	外国籍の場合の出入国方法を理解
15	外国籍の出入国手続きの流れ　在留手続き	外国籍の場合の出入国方法を理解
16	外国籍の出入国手続きの流れ　再入国許可	外国籍の場合の出入国方法を理解
17	まとめ・単元確認試験	まとめ、確認テスト
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	国際航空運賃	時間数	34単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研　国際航空運賃・料金		
補助教材	パワーポイントスライド・ユーキャン演習問題集（紙媒体）・出入国法令（JTB・紙）		

科目概要と科目到達目標

国際線の運賃計算についての学習。計算に必要な用語や基本的な計算手順の学習と旅程に従って実際に運賃を計算し、理解する。国際航空関連の現在の動きも交えて授業展開を図る。
総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。
定期的に豆テストと補講を実施。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。

週数	学習内容	学習のねらい
1	運賃計算基礎（用語解説）	海外航空運賃計算方法の習得
1	運賃計算基礎（用語解説）	海外航空運賃計算方法の習得
1	運賃計算基礎（GI：ルート）	海外航空運賃計算方法の習得
2	運賃計算基礎（GI：ルート）	海外航空運賃計算方法の習得
2	運賃計算基礎（シーズナリティ・タリフ基礎）	海外航空運賃計算方法の習得
2	運賃計算基礎（シーズナリティ・タリフ基礎）	海外航空運賃計算方法の習得
3	運賃計算基礎（マイレージ計算）	海外航空運賃計算方法の習得
3	運賃計算基礎（マイレージ計算）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（OW）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（OW）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（RT）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（RT）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（CT）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（CT）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（OJ）	海外航空運賃計算方法の習得
4	割引運賃基礎（OJ）	海外航空運賃計算方法の習得
5	運賃計算基礎（HIF・HIP・CTM・OJ）①	海外航空運賃計算方法の習得
5	運賃計算基礎（HIF・HIP・CTM・OJ）②	海外航空運賃計算方法の習得
6	運賃計算基礎（HIF・HIP・CTM・OJ）③	海外航空運賃計算方法の習得
6	運賃計算基礎（HIF・HIP・CTM・OJ）④	海外航空運賃計算方法の習得
6	運賃計算基礎（HIF・HIP・CTM・OJ）⑤	海外航空運賃計算方法の習得
7	割引運賃（OW・RT）マイルチェック	海外航空運賃計算方法の習得
7	割引運賃（OW・RT）マイルチェック	海外航空運賃計算方法の習得
7	割引運賃（OW・RT）マイルチェック	海外航空運賃計算方法の習得
8	キャリア運賃応用計算②	海外航空運賃計算方法の習得
9	キャリア運賃応用計算③	海外航空運賃計算方法の習得
10	習熟度テスト	
11	習熟度テスト	
12	習熟度テスト	
13	習熟度テスト	
14	習熟度テスト	
15	習熟度テスト	
16	習熟度テスト	
17	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年生	担当教員	坂上　啓貴
科　目　名	旅行英語Ⅱ	時間数	17単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材	観光英検　過去問題		

科目概要と科目到達目標

観光英検3級取得のため、英語で旅行知識や航空業界で必要な英語を理解できる力を養う。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストと問題集に掲載の旅行専用単語を覚え、次年度に繋げる
定期的に豆テストを実施。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	自己分析　オリエンテーション	テストの苦手分野を知る
2	旅行専門用語解説と習得　単語特訓1	旅行専門の単語の確認
3	旅行専門用語解説と習得　単語特訓2	旅行専門の単語の確認
4	旅行専門用語解説と習得　単語特訓3	旅行専門の単語の確認
5	旅行専門用語解説と習得　単語特訓4	旅行専門の単語の確認
6	旅行専門用語解説と習得　単語特訓5	旅行専門の単語の確認
7	旅行専門用語解説と習得　単語特訓6	旅行専門の単語の確認
8	旅行専門用語解説と習得　単語特訓7	旅行専門の単語の確認
9	旅行専門用語解説と習得　単語特訓8	旅行専門の単語の確認
10	旅行専門用語解説と習得　単語特訓9	旅行専門の単語の確認
11	旅行専門用語解説と習得　単語特訓10	旅行専門の単語の確認
12	自習・質問	ウィークポイントの確認
13	自習・質問	ウィークポイントの確認
14	過去問題	確認テスト
15	過去問題	確認テスト
16	過去問題	確認テスト
17	総まとめ	まとめ
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	若井　省三・島川　崇
科　目　名	海外観光資源	時間数	51単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業・オンライン併用
使用テキスト名	JTB総研　海外観光資源		
補助教材	JTB総研　旅行業務取扱管理者試験問題集・ユーキャン演習問題・パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解

総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す。

難易度の高い分野のため、2人のエキスパート講師を活用した授業展開とする。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。

定期的に豆テストと補講を実施。

傾向と対策を万全に実施し、総合合格者の排出を目指す。

評価方法・成績評価基準

①定期試験及び国家資格及び地理検定70%　②授業への積極的参加20%　③学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　40年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	アジア（韓国・中国）	海外地理知識の習得
2	アジア（中国・東南アジア）	海外地理知識の習得
3	アジア（東南アジア・中央アジア）	海外地理知識の習得
4	ヨーロッパ（フランス・イギリス・ドイツ）	海外地理知識の習得
5	ヨーロッパ（ドイツ・イタリア・東欧）	海外地理知識の習得
6	ヨーロッパ（東欧・北欧）	海外地理知識の習得
7	北米（アメリカ）	海外地理知識の習得
8	北米（アメリカ・カナダ）	海外地理知識の習得
9	ハワイ	海外地理知識の習得
10	オセアニア（オーストラリア）	海外地理知識の習得
11	オセアニア（ニュージーランド・ポリネシア）	海外地理知識の習得
12	中南米	海外地理知識の習得
13	中東・アフリカ	海外地理知識の習得
14	中東・アフリカ	海外地理知識の習得
15	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得
16	科目総復習確認試験①	まとめテスト①
17	科目総復習確認試験②	まとめテスト②
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	若井　省三
科　目　名	国際航空約款	時間数	51単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研　旅行業約款		
補助教材	ユーキャン演習問題集（紙媒体）		

科目概要と科目到達目標

国際航空約款の用語の定義と航空券、手荷物の許容量等を理解し

総合旅行業務取扱管理者試験資格取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

テキストと問題集を活用し、授業用穴埋めプリントを作成、使用し進める。

定期的にテストと補講を実施。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　40年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	定義、約款の適用①	国内航空約款との比較①
2	コードシェア便	旅客の摘要規則についての理解を深める
3	コードシェア便	旅客の摘要規則についての理解を深める
4	航空券	発行に関するルール、総則について
5	航空券	発行に関するルール、総則について
6	途中降機、運賃及び経路	運賃と経路に関する定めを深める
7	途中降機、運賃及び経路	運賃と経路に関する定めを深める
8	経路等の変更、運送不履行及び接続不能	旅客の都合による経路へっこうの場合の措置と変更後の適用運賃・料金
9	経路等の変更、運送不履行及び接続不能	旅客の都合による経路へっこうの場合の措置と変更後の適用運賃・料金
10	予約	予約の要件、航空券発券期限、座席指定、航空会社が行う予約の取り消し
11	予約	予約の要件、航空券発券期限、座席指定、航空会社が行う予約の取り消し
12	搭乗手続き、運送の拒否及び制限	運送の拒否または、制限に関する定め
13	搭乗手続き、運送の拒否及び制限	運送の拒否または、制限に関する定め
14	手荷物	手荷物に関する規定
15	手荷物	手荷物に関する規定
16	航空便のスケジュール、延着及び取消	スケジュールと取消
17	航空便のスケジュール、延着及び取消	スケジュールと取消
18	前期振り返り	
19	払戻	航空会社、旅客、紛失の払戻区分の理解
20	払戻	航空会社、旅客、紛失の払戻区分の理解
21	地上連絡輸送、宿泊、会社が行う手配及び機内食	旅客個人の責任について、航空会社の責任外の事項を理解
22	地上連絡輸送、宿泊、会社が行う手配及び機内食	旅客個人の責任について、航空会社の責任外の事項を理解
23	出入国手続	
24	出入国手続	
25	相次運送人、運送人の責任	航空会社の責任
26	相次運送人、運送人の責任	航空会社の責任
27	傷害賠償請求期限	手荷物に対するj損害賠償請求期限
28	傷害賠償請求期限	手荷物に対するj損害賠償請求期限
29	法令違反条項	法令違反条項の理解
30	法令違反条項	法令違反条項の理解
31	改定及び権利放棄	権利放棄とは？
32	まとめ	
33	期末テスト	
34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	国家試験対策	時間数	34単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	国家試験対策・演習問題集・ユーキャン演習問題		
補助教材	海外・国内サブノート		

科目概要と科目到達目標

過去5年間の総合旅行業務取扱管理者試験の問題に挑戦する。
それぞれの問題を解き、一つ一つの問題に対する回答の説明をすることで、理解を深める。
到達目標は、国家試験に合格するために挑戦した問題の6割正解を目指す。

授業の進め方・学習方法・課題

①昨年、2年前、3年前、4年前、5年前との順にさかのぼって問題に取り組む。
②科目ごとに取り組み、一つの科目が6割に到達後、次の科目へと進める。

評価方法・成績評価基準

①定期試験（国家試験代用）20%　②授業への積極的参加50%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　22年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
2	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
3	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
4	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
5	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
6	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
7	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
8	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
9	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
10	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
11	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
12	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
13	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
14	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
15	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
16	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
17	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
18	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
19	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
20	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
21	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
22	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
23	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
24	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
25	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
26	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
27	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
28	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
29	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
30	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
31	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
32	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
33	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
34	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	澤野　仙吉
科　目　名	プランニング	時間数	34単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	なし		
補助教材	各旅行会社実販売旅行パンフレット		

科目概要と科目到達目標

旅行プランニングをつくり方を学ぶ事で、創造力、分析力を磨き、校内プランニングコンテストで優良なプランを発表する。

授業の進め方・学習方法・課題

グループワークで分析力を磨き、プランニングの練習を行い、
本選に出す作品を仕上げる。

評価方法・成績評価基準

①定期試験0%　②授業への積極的参加10%　③提出物80%　④学習意欲10%
※国際理解（JR選定者）は、その授業の評価も加味する。
【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　22年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	旅行プランニングとは	アイスブレイクと概要理解
2	2020年予測データからの分析①	分析力を磨く
3	2020年予測データからの分析②	分析力を磨く
4	各自分析した資料を基にグループディスカッション①	提案力を磨く
5	各自分析した資料を基にグループディスカッション②	提案力を磨く
6	プランニング（マーケティング）	プランニングのやり方を学ぶ
7	プランニング（マーケティング）	プランニングのやり方を学ぶ
8	プランニング（マーケティング）	プランニングのやり方を学ぶ
9	プランニング応用（原価計算）	プランニングのやり方を学ぶ
10	プランニング応用（原価計算）	プランニングのやり方を学ぶ
11	プランニング応用（原価計算）	プランニングのやり方を学ぶ
12	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
13	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
14	プラン作成③	プランニングのやり方を学ぶ
15	プラン作成④	プランニングのやり方を学ぶ
16	プレゼンテーションプレ発表	プレゼンテーション技法を習得
17	プレゼンテーションプレ発表	プレゼンテーション技法を習得
18	プレゼンテーション技法基礎	プレゼンテーション技法を習得
19	プレゼンテーション技法基礎	プレゼンテーション技法を習得
20	プレゼンテーション技法基礎	プレゼンテーション技法を習得
21	本選プラン作成①	プランニングの実践
22	本選プラン作成②	プランニングの実践
23	本選プラン作成③	プランニングの実践
24	本選プラン作成④	プランニングの実践
25	本選プラン作成⑤	プランニングの実践
26	本選プラン作成⑥	プランニングの実践
27	本選プラン作成⑦	プランニングの実践
28	プレゼンテーション演習①	プレゼンテーション技法を習得
29	プレゼンテーション演習②	プレゼンテーション技法を習得
30	プレゼンテーション演習③	プレゼンテーション技法を習得
31	提案①	
32	提案②	
33	提案③	
34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	プレゼンテーション演習	時間数	34単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	なし		
補助教材	PDF教材（プレゼンテーションスキルを学ぶ教材活用）		

科目概要と科目到達目標

後期のプランニングコンテストや社会に活かせるプレゼンテーション力を身につける
社会に出た後のプレゼンテーション機会を想定したスキル習得。

授業の進め方・学習方法・課題

様々なプレゼンテーションを通してプレゼンテーション力を磨く
事例研究を通したTPOを考えた適切なプレゼンテーション展開を学ぶ。

評価方法・成績評価基準

①定期試験20%　②授業への積極的参加50%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　10年間。企画営業経験でプレゼン経験。

週数	学習内容	学習のねらい
1	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
2	相手を動かすプレゼンテーションとは(グループワーク①)	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
3	相手を動かすプレゼンテーションとは(グループワーク②)	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
4	相手を動かすプレゼンテーションとは(グループワーク③)	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
5	相手を動かすプレゼンテーションとは(グループワーク④)	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
6	相手を動かすプレゼンテーションとは(発表①)	プレゼンテーションの実践
7	相手を動かすプレゼンテーションとは(発表②)	プレゼンテーションの実践
8	相手を動かすプレゼンテーションとは(発表③)	プレゼンテーションの実践
9	相手を動かすプレゼンテーションとは(発表④)	プレゼンテーションの実践
10	プレゼンテーションの振り返り	プレゼンテーションの実践と振り返り
11	プレゼンテーションの振り返り	プレゼンテーションの実践と振り返り
12	実践練習　口頭①　準備	プレゼンテーションの実践
13	実践練習　口頭②　準備	プレゼンテーションの実践
14	実践練習　口頭③　準備	プレゼンテーションの実践
15	実践練習　口頭①　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
16	実践練習　口頭②　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
17	実践練習　口頭③　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
18	実践練習　口頭④　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
19	実践練習　パワーポイント活用①　準備	プレゼンテーションの実践
20	実践練習　パワーポイント活用②　準備	プレゼンテーションの実践
21	実践練習　パワーポイント活用③　準備	プレゼンテーションの実践
22	実践練習　パワーポイント活用①　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
23	実践練習　パワーポイント活用②　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
24	実践練習　パワーポイント活用③　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
25	実践練習　パワーポイント活用④　発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
26	相手を動かすプレゼンテーションとは	優良事例の共有
27	実践テスト　準備	プレゼンテーションの実践
28	実践テスト　準備	プレゼンテーションの実践
29	実践テスト　準備	プレゼンテーションの実践
30	実践テスト　準備	プレゼンテーションの実践
31	プレゼンテーション発表①	
32	プレゼンテーション発表②	
33	プレゼンテーション発表③	
34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	海外実務	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研　観光概論		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

社会に出た実務に精通する人材育成を目指して観光関連の事例をもとに概論を学ぶ。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストを活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。

定期的にテストを実施。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、航空券予約・発券、出入国書類作成、旅行傷害保険作成他、旅行に係わる実務経験10年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	海外旅行実務　基礎知識	海外実務の知識の習得
2	時差 基本知識（GMT基礎）	海外実務の知識の習得
3	時差　時差計算方法（GMT換算）	海外実務の知識の習得
4	時差　時差計算方法（2地点間の時差）	海外実務の知識の習得
5	時差　時差計算方法（相手の現地時間）	海外実務の知識の習得
6	時差　時差計算方法（所要時間）	海外実務の知識の習得
7	航空会社名と世界の空港	海外実務の知識の習得
8	時差・航空会社・空港　単元確認試験	海外実務の知識の習得
9	航空時刻表（OAG基礎）	海外実務の知識の習得
10	航空時刻表（時刻表読解）	海外実務の知識の習得
11	航空時刻表（乗継時刻表読解）	海外実務の知識の習得
12	OAG　空港時刻表　単元確認試験	海外実務の知識の習得
13	査証・シェンゲン規定	海外実務の知識の習得
14	外国の鉄道（ヨーロッパ・アジア・アメリカ・AUS）	海外実務の知識の習得
15	海外ホテル用語・食事	海外実務の知識の習得
16	海外旅行保険	海外実務の知識の習得
17	旅行実務　科目確認試験	海外実務の知識の習得
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	マーケティング	時間数	34単位時間
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研 「観光のマーケティング・マネジメント」		
補助教材	パワーポイントスライド		

科目概要と科目到達目標

旅行業を営むための条件や旅行者と取引するときの決まり事を定めた旅行業法について理解し
旅行業務取扱管理者試験資格の取得を目指す。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。
通期の中で数回、外部講師による「マーケティング」の実社会での取り組み等の講義を予定。（詳細別途）
京都をモデルとした理論を学ぶとともに実習（京都）を取り入れる。
前期テスト（記述・選択式）、後期テスト（選択・記述式）

評価方法・成績評価基準

①定期試験30%　②授業への積極的参加20%　③提出物40%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　10年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション①	年間計画等について
2	振り返り	1年次の履修範囲の確認
3	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
4	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
5	航空郵送から見た価格設定②	価格マネジメントについて理解する
6	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
7	企業戦略②	価格マネジメントについて理解する
8	ビジネスモデルイノベーション①	企業事例研究
9	ビジネスモデルイノベーション②	企業事例研究
10	ビジネスモデルイノベーション③	企業事例研究
11	ビジネスモデルイノベーション④	企業事例研究
12	ビジネスモデルイノベーション⑤	企業事例研究
13	ビジネスモデルイノベーション⑥	企業事例研究
14	ビジネスモデルイノベーション⑦	企業事例研究
15	ビジネスモデルイノベーション⑧	企業事例研究
16	オリエンテーション②	前期振り返りと後期に向けて
17	指定範囲について	確認テスト
18	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
19	流通チャネルについて（実習予定）	流通チャネルのマネジメントを知る
20	流通チャネルについて（実習予定）	流通チャネルのマネジメントを知る
21	メディア戦略	流通チャネルのマネジメントを知る
22	インバウンドマネジメント（外部講師オンデマンド）	プロモーションマネジメントを理解する
23	ホスピタリティーマネジメント①	プロモーションマネジメントを理解する
24	ホスピタリティーマネジメント②	プロモーションマネジメントを理解する
25	ホスピタリティーマネジメント③	プロモーションマネジメントを理解する
26	インバウンドマネジメント（外部講師予定）	プロモーションマネジメントを理解する
27	インバウンドビジネス①	プロモーションマネジメントを理解する
28	インバウンドビジネス②	プロモーションマネジメントを理解する
29	インバウンドビジネス③	プロモーションマネジメントを理解する
30	インバウンドビジネス④	プロモーションマネジメントを理解する
31	2年間総括①	プレゼンテーション
32	2年間総括②	プレゼンテーション
33	2年間総括③	プレゼンテーション
34	年度末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	大野　孝予
科　目　名	INFINI　国際線初級・中級	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	INFINI　Reservation　and Fare Pricing		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

〇科目概要：ANAグループ国際線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券について
お役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフが
使用する共通の予約発券システムを使用。

〇科目到達目標：1年間で国際線取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。

授業の進め方・学習方法・課題

〇教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。
講師より予め、問題を作成されたものを練習問題とし学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。
課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返しすることで身に付けていく。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　22年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	はじめに	国際線について　概要　手続き他
2	1年次の復習	予備知識の確認
3	1年次の復習	予備知識の確認
4	1年次の復習	予備知識の確認
5	予約システムと基本操作	基本操作への理解
6	予約システムと基本操作	基本操作への理解
7	検索	各種コードの検索
8	スケジュール照会	週間・特定便のスケジュール照会
9	フライト予約　空席照会からの予約	予約発券業務への操作の理解　実技演習
10	フライト予約　便名指定による予約	予約発券業務への操作の理解　実技演習
11	旅程の取り消し・挿入・移動	予約発券業務への操作の理解　実技演習
12	旅客データ入力	予約発券業務への操作の理解　実技演習
13	PNRの完了　中断	予約発券業務への操作の理解　実技演習
14	PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解　実技演習
15	事前座席指定	予約発券業務への操作の理解　実技演習
16	SSR　特別に配慮のあるお客様情報入力	旅客情報入力
17	小テスト	まとめ
18	SSRの概要	旅客情報入力
19	SSR　機内食　小児　幼児情報	特別運賃料金への理解
20	SSR　旅客データ	運賃計算への理解
21	PNRの分割・PNRのコピー	航空券の有効期限・払戻への知識
22	PNRの分割・PNRのコピー	発券ファイルとは・理解と応用
23	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
24	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
25	キュー処理概要	問い合わせ概要
26	キュー処理	問い合わせ概要
27	キュー処理フォローアップ	問い合わせ概要
28	キューBOXの編集	問い合わせ概要
29	まとめ	まとめ
30	まとめ	まとめ
31	ロールプレイ	総まとめ　実技
32	ロールプレイ	総まとめ　実技
33	検定対策	検定試験　事前学習
34	検定対策	検定試験　事前学習

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全学科	必須・選択	選択必修
学　　年	2年生	担当教員	富田朋美
科　目　名	中国語Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	新・ゼロから学ぶ中国語　検定試験合格への道のり		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要：文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、
中国で通じる中国語の習得を目指す
科目到達目標：中国語検定4級

授業の進め方・学習方法・課題

文法を確認しながら、日常生活で通用通用する中国語を学ぶ

評価方法・成績評価基準

①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	第9课　一共多少钱？	選択疑問文の使い方を覚える
2	第9课　一共多少钱？	金額の言い方を覚える
3	第9课　一共多少钱？	動詞の重ね型を覚える
4	第10课　大学里有书店	存在を表す「在」と「有」の使い分け
5	第10课　大学里有书店	「的」の用法を覚える
6	第10课　大学里有书店	連動文を覚える
7	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
8	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
9	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
10	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
11	第11课　我去过中国	助動詞の使い方を覚える
12	第11课　我去过中国	経験を表す言葉を覚える
13	第11课　我去过中国	「（是）～的」の文を覚える
14	第12课　我家在做作业呢	現在進行形を覚える
15	第12课　我家在做作业呢	時間量を覚える
16	第12课　我家在做作业呢	比較の表現を覚える
17	第13课　我家离大学不太远	前置詞の種類を覚える
18	第13课　我家离大学不太远	前置詞の使い分けを覚える
19	第13课　我家离大学不太远	「怎么」と「怎么样」の使い分けを知る
20	第14课　我得打工	助動詞の使い方を覚える
21	第14课　我得打工	二重目的語を持つ動詞を覚える
22	第14课　我得打工	二重目的語を持つ動詞の文を作る
23	第15课　我们快放假了	未来形を覚える
24	第15课　我们快放假了	未来形を入れた文を作る
25	第15课　我们快放假了	程度を表す助詞「得」の文を覚える
26	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
27	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
28	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
29	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
30	一問一答①	質問を聞いて、即答できるようになる
31	一問一答②	質問を聞いて、即答できるようになる
32	一問一答③	質問を聞いて、即答できるようになる
33	期末テスト	
34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全学科	必須・選択	選択必修
学　　年	2年生	担当教員	中林・平山・金相範
科　目　名	韓国語Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	実用韓国語文法初級		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要：韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする

科目到達目標：ﾊﾝｸﾞﾙ能力検定試験　4級取得

授業の進め方・学習方法・課題

テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
8	10. 値段を聞く1	日常会話
9	10. 値段を聞く2	日常会話
10	11. 食べ物について聞く1	日常会話
11	11. 食べ物について聞く2	日常会話
12	12. 相手を待たせる表現を学ぶ1	日常会話
13	12. 相手を待たせる表現を学ぶ2	日常会話
14	13. 歳と数字について学ぶ1	日常会話
15	前期試験	
16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
27	13. 歳と数字について学ぶ2	日常会話
28	14. 自分がしたいことについて話せる1	日常会話
29	14. 自分がしたいことについて話せる2	日常会話
30	補助教材1. 全業種共通フレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
31	補助教材2. 飲食業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
32	補助教材3. 販売業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
33	補助教材4. 宿泊・レジャー・美容業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全学科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	阿部/北村/古沢/矢後
科　目　名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名			
補助教材			

科目概要と科目到達目標

SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。

授業の進め方・学習方法・課題

前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。

評価方法・成績評価基準

①発表内容40%　②授業への積極的参加(出席率)30%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
11	活動①	1回目　SDGs問題解決のための活動
12	活動②	1回目　SDGs問題解決のための活動
13	活動③	1回目　SDGs問題解決のための活動
14	活動の振り返り①	活動の問題提起　振り返り
15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
16	活動④	2回目　SDGs問題解決のための活動
17	活動⑤	2回目　SDGs問題解決のための活動
18	活動⑥	2回目　SDGs問題解決のための活動
19	活動の振り返り③	活動の問題提起　振り返り
20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
21	活動⑦	3回目　SDGs問題解決のための活動
22	活動⑧	3回目　SDGs問題解決のための活動
23	活動⑨	3回目　SDGs問題解決のための活動
24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起　振り返り
25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
30	発表①	一年の活動報告
31	発表振り返り	
32	来年度への提言①	来年度の企画立案
33	来年度への提言②	来年度の企画立案
34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	中林幸恵
科　目　名	異文化理解	時間数	17単位時間
開講期間	後期	単位数	－
使用テキスト名	異文化理解入門（研究社）		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める

授業の進め方・学習方法・課題

授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ
授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い
問題解決を模索する。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なのかを学ぶ
2	異文化コミュニケーション① ～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
3	異文化コミュニケーション② ～自文化への気付き	自分を振り返る
4	異文化コミュニケーション③ ～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
5	異文化コミュニケーション④ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
6	異文化コミュニケーション⑤ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
7	文化・文明の衝突①　～異文化に対する偏見 ～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
8	文化・文明の衝突②　～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
9	文化・文明の衝突③　～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
10	文化・文明の対話①　～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
11	文化・文明の対話②　～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
12	文化・文明の対話③　～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
13	文化・文明の対話④　～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
14	文化・文明の対話⑤　～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
15	文化・文明の対話⑥　～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
16	文化・文明の対話⑦　～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
17	期末試験	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	なし		
補助教材	パワーポイントスライド（職業能力開発講座・ビジネス基礎編より抜粋活用）		

科目概要と科目到達目標

就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う

就職後に求められるビジネススキルについて学ぶ。

さまざまな求人情報や会社説明会を通じて業界・企業研究への理解を深める。

授業の進め方・学習方法・課題

前半はさまざまな企業説明会を授業に織り込んで実施する。

必要に応じて職業適性検査を実施し、本人適性・職業適性から求人エントリーを絞り込む一助とする。

後半は就活が進まない学生に絞り、個人面談を繰り返し実施して年度末までの就職先を選定していく。

右記の週に伴う学習内容は順不同とする。

評価方法・成績評価基準

①定期試験0%　②授業への積極的参加50%　③提出物0%　④学習意欲50%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　10年間。人事・求人担当も経験あり。

週数	学習内容	学習のねらい
1	就職活動にのぞむにあたって	働く意義を理解する
2	企業説明会①	エコパートナーズ
3	企業説明会②	加賀屋
4	企業説明会③	コメリ
5	企業説明会④	グランベルホテル
6	企業説明会⑤	県内企業
7	企業説明会⑥	県外企業
8	企業説明会⑦	県内企業
9	企業説明会⑧	県外企業
10	企業説明会⑨	県内企業
11	企業訪問について①質問事項の整理	企業訪問で行う質問を明確にし、文章表現を精査する。
12	企業訪問について②選考への心構え	企業の内定を得るための心構えや、社会人としての心構えを学ぶ。
13	企業訪問のお礼状について	訪問した企業への礼状野書き方を学ぶ。
14	就職試験のマナーについて	就職試験における一般的な礼儀作法を学ぶ。
15	控室でのマナーについて	控室で待つときの一般的な礼儀作法を学ぶ。
16	椅子の座り方、お辞儀の仕方　実践練習①	椅子の座り方、お辞儀の仕方等就職試験の際の所作を学ぶ。
17	椅子の座り方、お辞儀の仕方　実践練習②	椅子の座り方、お辞儀の仕方等就職試験の際の所作を学ぶ。
18	面接試験対策　講義①	面接試験とその対策について学ぶ。
19	面接試験対策　講義②	面接試験とその対策について学ぶ。
20	個人面接試験練習　実践①	面接官個人との面接の際の受け答えや所作を学び、実践する。
21	個人面接試験練習　実践②	面接官個人との面接の際の受け答えや所作を学び、実践する。
22	集団面接練習　実践①	集団面接の際の礼儀や所作を学び、実践する。
23	集団面接練習　実践②	集団面接の際の礼儀や所作を学び、実践する。
24	グループディスカッション　実践①	グループディスカッションの際のルールや意見交換について学ぶ。
25	グループディスカッション　実践②	グループディスカッションの際のルールや意見交換について学ぶ。
26	模擬面接試験①	面接対策のまとめとしての模擬面接①
27	模擬面接試験②	面接対策のまとめとしての模擬面接②
28	ハローワーク求人情報共有会	随時実施（個人面談）
29	ハローワーク求人情報共有会	随時実施（個人面談）
30	ハローワーク求人情報共有会	随時実施（個人面談）
31	就職後のビジネススキル①	職業能力開発講座
32	就職後のビジネススキル②	職業能力開発講座
33	就職後のビジネススキル③	職業能力開発講座
34	就職後のビジネススキル④	職業能力開発講座

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	街づくり概論	時間数	51単位時間
開講期間	前期及び後期（後期・2時限）	授業形態	対面授業
使用テキスト名	なし		
補助教材	パワーポイントスライド・JR関連チラシパンフレット・各種映像		

科目概要と科目到達目標

2022年4月からの授業カリキュラムで街づくりに焦点をあてた授業展開。人口減少や高齢化の加速、公共交通機能の衰退は街づくりや観光振興に与える影響が大変大きいゆえ、これからの社会の担い手となる当校の学生にその重要性や課題解決策を考えていく授業を模索する。昨年、当校・当科の授業の一環で、新潟市の社会実験・近距離モビリティ「WHILL」に学生を試乗体験させて2次交通機能の可能性や将来性についても学習した。新潟市の公共交通機能や新潟街づくり「にいがた2KM」など新潟市の課題や推進事業をより広く深く学ぶことは大変有意義であり、産・官・学連携の更なる推進で観光振興や街づくりをデザインしていく授業を次年度から段階的・体系的に実施していく。

授業の進め方・学習方法・課題

・新潟市役所都市政策課との連携授業で前期・後期にわけて「新潟2KMへの取り組み」と「公共事業の役割」について学ぶこととする。街歩き実習を年間計4回実施。

評価方法・成績評価基準

①定期試験0%　②授業への積極的参加50%　③提出物30%　④学習意欲20%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　10年間。新潟市役所職員参加。

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション①	年間計画等について
2	新潟2KMと都市政策について①	新潟市の取り組みを学ぶ
3	新潟2KMと都市政策について②	新潟市の取り組みを学ぶ
4	新潟2KMと都市政策について③	新潟市の取り組みを学ぶ
5	新潟2KMと都市政策について④	新潟市の取り組みを学ぶ
6	新潟2KMと都市政策について⑤	新潟市の取り組みを学ぶ
7	新潟市の課題について（個人ワーク）	課題の抽出と解決策を考える
8	新潟市の課題について（個人ワーク）	課題の抽出と解決策を考える
9	新潟市の課題について（グループワーク）	課題の抽出と解決策を考える
10	新潟市の課題について（グループワーク）	課題の抽出と解決策を考える
11	新潟市の課題について（グループワーク）	課題の抽出と解決策を考える
12	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
13	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
14	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
15	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
16	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
17	前期まとめ	都市政策課特別講義
18	オリエンテーション②	後期の流れについて
19	公共交通機能の役割について	バスを中心とした事業体の役割
20	公共交通機能の役割について	バスを中心とした事業体の役割
21	公共交通機能の役割について	バスを中心とした事業体の役割
22	Maasについて	新潟市の吸引力
23	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
24	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
25	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
26	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
27	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
28	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
29	サスティナブルな街作りのデザイン①	コンパクトシティの成功事例都市研究
30	サスティナブルな街作りのデザイン②	コンパクトシティの成功事例都市研究
31	サスティナブルな街作りのデザイン③	魅力ある街デザインとは
32	サスティナブルな街作りのデザイン④	魅力ある街デザインとは
33	サスティナブルな街作りのデザイン⑤	魅力ある街デザインとは
34	まとめ	都市政策課特別講義

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	トラベル観光科	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	世界遺産Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	詳しく学ぶ世界遺産300		
補助教材	パワーポイントスライド		

科目概要と科目到達目標

世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定2級の取得

授業の進め方・学習方法・課題

テキストと専用穴埋めプリントを活用し、練習問題で繰り返し対策を行う。

評価方法・成績評価基準

①定期試験（遺産検定代用）50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－79点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　10年間。

週数	学習内容	学習のねらい
1	第1章 世界遺産の基礎知識 第2章 日本の遺産	世界遺産検定対策
2	第3章 世界で最初の世界遺産	世界遺産検定対策
3	第4章 文化的景観 第5章 シリアル・ノミネーション/トランスバウンダリー	世界遺産検定対策
4	第6章 文化の多様性 第7章 歴史地区と旧市街　第8章 都市計画	世界遺産検定対策
5	第9章 キリスト教（カトリック/プロテスタント） 第10章 キリスト教（正教会/東方諸教会）	世界遺産検定対策
6	第11章 イスラム教　第12章 仏教　第13章 世界の宗教　第14章 古代ギリシャとヘレニズム	世界遺産検定対策
7	第15章 ローマ帝国 第16章 先史時代　第17章 古代文明	世界遺産検定対策
8	第18章 アメリカ大陸の文明　第19章 東南アジアと南アジア　第20章 ヨーロッパの建築様式	世界遺産検定対策
9	第21章 近現代建築　第22章 十字軍と騎士団 第23章 大航海時代とキリスト教の海外布教	世界遺産検定対策
10	第24章 商業・交易・貿易　第25章 混ざり合う文化（文化交流）　第26章 絶対王政	世界遺産検定対策
11	第27章 産業遺産　第28章 未来への教訓 第29章 地球の歴史	世界遺産検定対策
12	第30章 カルスト地形　第31章 氷河地形 第32章 湖・湿地帯	世界遺産検定対策
13	第33章 森林・熱帯雨林　第34章 草原 第35章 火山	世界遺産検定対策
14	第36章 化石出土地帯 第37章 固有の生態系	世界遺産検定対策
15	第38章 海洋生態系 第39章 絶滅危惧種	世界遺産検定対策
16	検定前　最終模擬試験	世界遺産検定対策
17	検定前　最終模擬試験	世界遺産検定対策
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	中林幸恵
科　目　名	初級手話	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

手話検定試験6級取得に向けた授業展開

⇒基本的な手話表現力ができる　あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる

⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。

授業の進め方・学習方法・課題

手話で自己紹介ができるよう、基礎的な手話授業実施。

指文字・挨拶・数字など、ちょっとした接客会話ができるようロールプレイ実施

〇対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験　15 %　②授業への積極的参加(出席率)40%　③提出物　5%　④学習意欲30%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション	手話の基礎知識　（目指すもの・評価・検定）　自己紹介
2	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
3	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
4	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
5	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
6	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
7	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
8	自己紹介③	年齢　月日　曜日　指文字
9	自己紹介③	年齢　月日　曜日　指文字
10	都道府県①	北海道～北陸地方
11	都道府県②	関東地方～中国地方
12	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
13	都道府県④	確認チェック
14	ゲーム	都道府県カルタ
15	簡単接客手話	挨拶・ご案内他
16	まとめ	まとめ
17	期末試験	手話検定試験6級レベル
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	坂上啓貴
科　目　名	映画で学ぶ文化・歴史・思想	時間数	17時間
開講期間	2023年後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材			

科目概要と科目到達目標

様々な映画を用い、現代につながる文化や歴史的背景について学び、理解する事で国際人としての教養を身に着け、コミュニケーション力向上を図る。

授業の進め方・学習方法・課題

毎回課題の映画を視聴し、その映画の文化・歴史的背景を考察する。映画を視聴してどのような感じたか、感想や考察をレポートとして提出、クラス内で発表する。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	映画と歴史の関係性を解く	映画史とその時の時代背景を理解する
2	「スタンドバイミー」前編	時代背景を学び文化的考察を行う
3	「スタンドバイミー」後編	
4	感想・考察文作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
5	感想・考察文クラス内発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
6	「マイ・インターン」前編	文化・人種的背景を学ぶ
7	「マイ・インターン」後編	
8	感想・考察文　作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
9	感想・考察文　発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
10	「フォレスト・ガンプ」前編	文化・人種的背景を学ぶ
11	「フォレスト・ガンプ」中編	
12	「フォレスト・ガンプ」後編	
13	感想・考察文　作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
14	感想・考察文　発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
15	映画・ドラマの相違と文化	映画とドラマでの違いを見つけ、考察する
16	映画監督・俳優・女優から学ぶ人生	映画監督や演者の人生からメッセージを読み解く
17	映画史レポート提出と発表	今まで学習して気づいたことや意見を記述し発表する
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	阿部塊地
科　目　名	現代文学研究	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	赤と青のエスキース　PHP出版社		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

2022年本屋大賞2位作品を読み解く。
先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめ発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける
一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。

授業の進め方・学習方法・課題

授業の3日前までに、決められた章（部分）を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。
授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。
定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
2	第1章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
3	第1章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
5	第2章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
6	第2章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
8	第3章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
9	第3章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
11	第4章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
12	第4章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
15	定期試験　発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
16	定期試験　発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
17	まとめ	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		